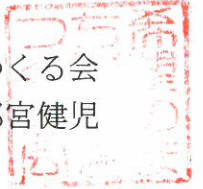


2016年7月27日

応援要請へのご回答

鳥越俊太郎 様

希望のまち東京をつくる会
宇都宮健児



都政を都民の手にとりもどすための連日の奮闘に心より敬意を表します。

本日の応援要請を受け、選対スタッフ・支援者との相談・協議を経て、以下の項目について受け入れていただけるのであれば、宇都宮が応援演説に参加させていただくことを決めました。

【政策について】

1. 当選の際には、下記の政策の実現に向けて誠実に努力すること。

- ① 築地市場の移転作業をいったん停止し、関係者を入れて計画を見直すこと。
- ② 横田基地のオスプレイ配備に反対すること。
- ③ 外郭環状道路などの都市計画道路の整備について住民生活への影響が多大であるという認識を持ち、そのあり方を抜本的に見直すこと。
- ④ 夜間定時制高校（4校）閉過程の決定を凍結させること。
- ⑤ 東京独自の給付型奨学金の創設に向けた検討を開始すること。
- ⑥ 公契約条例を制定し、都の関連事業で働く労働者の賃金を段階的に1500円以上にする。
- ⑦ 東京から貧困をなくしていくための総合的な貧困対策のプログラムを、着任一年以内に策定、公表すること。

【女性の人権問題について】

2. 『週刊文春』7月28日号および8月4日号、『週刊新潮』同日号にて報道された、鳥越氏の行動にかかわる記事につき、鳥越候補は、根拠を述べることなく「事実無根」として、刑事告訴まで行なっています。しかし、私たちはこの記事そのものから見て、事実無根と考えることはできません。むしろ、女性とその関係者の証言まで否定することは、被害女性に対するさらなる人権侵害となる可能性があります。

・よって、この問題につき、鳥越候補自らが記者会見など公開の場で説明責任を果たし、被害者女性への配慮を示すこと。

【政策討論会について】

3. 明日（28日）朝以降、候補者間の政策討論等の機会があるならば、欠席しないこと。

以上